



2022.10.5

No.345

MONTHLY

れんごう

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ぼくろうビル6F TEL(011)210-0050

発行責任者 藤盛敏弘

center@rengo-hokkaido.gr.jp

「2022平和行動 in 根室」を開催 ノサップ集会に500名超える全国の仲間が結集

日本固有の領土である北方四島が、旧ソビエト連邦によって不法占拠されてから77年が経過する中、連合は3年ぶりに対面による「2022平和行動 in 根室」を9月10・11日、2日間にわたり開催した。

今年は新型コロナ感染予防のため参加者数を制限し、1日目は学習会を3会場に分散して北方四島学習会を開催した。専門家による講演では、現在の国際情勢が北方領土問題にもたらす影響や、島の現状や諸課題、日ロ共同経済活動の展望など様々な観点から北方四島について学んだ。

2日目、納沙布岬・望郷の岬公園において開催された「2022平和ノサップ集会」には、全国から518名の仲間が結集した。



主催者挨拶にたった連合芳野会長は、「ロシアは北方領土問題解決のための環境作りを目的とする北方四島ビザなし交流や協同経済活動に関する協議などを

一方的に破棄・中断することを表明した。これらの一連の動きは、両国の関係を多方面に後退させることに他ならない。北方四島の一括返還と日ロ平和条約の締結を通じて北方領土問題を早期に解決し眞の意味での戦後を迎えよう」と述べた。

続いて、地元北海道を代表し挨拶に立った連合北海道杉山会長は、「ノサップ岬から貝殻島まではわずか3.7キロ。当時17,291人いた島民元居住者も、本年6月末現在では5,446人、平均年齢も86.9歳。高齢化が進んでおり、一刻も早い返還が求められる。しかし、根室に近い矢臼別演習場ではオスプレイが参加して大規模な日米共同訓練が実施され、今年も10月1日から14日まで約3,500人が参加しての訓練が予定されている。また、12月には沖縄米海兵隊による『実弾移転訓練』の実施も予定されている。一方、ロシアは大規模な軍事演習



2022平和ノサップ集会

北方領土(択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島)の返還!
故郷への想いをつなごう! 四島交流を進めよう!

主催:日本労働組合総連合会 従属:外務省、内閣府 北方対策本部、独立行政法人 北方領土問題対策会 田平山納沙布岬



『ボストーク』を実施しているが、軍事演習の応酬は、いたずらに地域の軍事的緊張を高める。平和は武力ではなく、対話による平和外交でしか創り出すことはできない。国民の悲願である北方領土を一日も早く取り戻すため、77年前に『一体何があったのか?』を、この根室で学習し、納沙布岬で感じたことをぜひ職場・地域の仲間に伝えて、今後の取り組みに繋げることをお願いする」と訴えた。

続いて、平和リレーが行われ、平和4行動スタートの地、沖縄ヘピースフラッグが受け渡された。最後に、地元釧路地協の浅野会長が、四島一括返還運動の更なる深化・ロシアによるウクライナ侵攻の平和的解決を訴える力強い団結がんばろうで締めくくった。

連合北海道は、今後も職場・地域にいる仲間とともに北方領土返還運動に粘り強く取り組んでいく。

〈この記事のアドレス〉
<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=6159>



第25代(北海道第10代)高校生平和大使 長崎研修報告

連合北海道と道退職者連合で構成する北海道高校生平和大使派遣実行委員会が選出した第25代(北海道第10代)高校生平和大使3人は8月6日から長崎市

で研修を行うとともに、同8日に開催された「連合2022平和ナガサキ集会」に参加した。研修を終えての報告が寄せられたので紹介する。



いのまた あさみ
猪又 愛紗美さん
 (登別明日中等教育学校2年)

今回私は初めて長崎を訪れ、遺構巡りや多くの式典に参加するなどとても貴重な経験をさせていただきました。

3日目に参加した平和祈念式典では、被爆者による合唱団の演奏を聴き、大きく心を動かされ、皆さんの生の歌声を聴けたことに深く感謝しました。被爆者が必死に訴える生の声は時の経過とともに途切れそうになっていますが、私たちがその声をつなぐことができます。被爆者の声を聞ける最後の世代として私たちが活動していることに意味があると感じています。

この4日間で複数の被爆者、被爆体験者の方のお話を

聞く機会に恵まれ、今まで浅かった私の戦争や原爆に対する知識、意識が大きく変わりました。この経験を私の中で終わらせるのではなく私たちと同じ高校生や、もっと若い世代に広めていく責任があります。

全体を通して、長崎ではやはり平和大使の認知度も高く、活動を応援してくださる方に多く出会いました。それと比べて北海道ではまだ私たちの活動に対する認知度は低いと改めて痛感しました。認知度をあげ、平和に対して考えるきっかけづくりをするためにも私たちが率先して活動していく必要があります。

6月の結団式からこれまでの活動で署名活動や原爆パネル展を通して微力ではありますが確実に多くの人の心を動かしていると感じています。私の周りにも活動に賛同してくれる友人も多くいます。この平和の輪を今後学校内だけでなく、地域、そして道内全体へ広めていきます。



さいとう
齊藤 あかりさん
 (北星学園女子高等学校3年)



私達は8月7日から4日間、長崎研修に参加した。私は既に2度長崎を訪れ原爆について学んだことがあったが、大使として訪れる長崎はやはり責任感があり、学びの多いものとなった。

私はその中でも、分科会でお話された高校生平和大使派遣実行委員会共同代表の平野伸人さんが印象に残っている。平野さんからは、被爆2世として母から聞いた被爆当時の様子、ご自身のこれまでとこれからの平和活動についてお聞きした。平野さんは昔韓国に出向き在外被爆者や被爆2世の方とお会いしたらしく、「被爆者として共に核廃絶をしよう」と挨拶をしたところ、韓国の方々からは「日本の支配がなければ私達は被爆者にならなかつた」と厳しい言葉をかけられたそうだ。私達は6月に広島

での決断式、平和記念公園での研修を行った際に韓国人原爆犠牲者慰靈碑などを通して在外被爆者について、広島での被爆で死没した中で1割は韓国人であり、それを無視してはならないとお聞きしたが、平野さんから改めて韓国のお外被爆者についてお聞きし、どうやってこの問題と向き合うべきか、高校生として何ができるかを考えるよう

になった。

また、核兵器廃絶の運動が夏の運動と言われていることに対して、私達高校生が現代の核兵器に対する意識の低さを感じる中で危機感を感じている。高校生平和大使として広島、長崎を訪れ、被爆者からの話を受け取った者として、これからも活動していこうと思う。



よしだ さくら
吉田 桜さん

(札幌聖心女子学院高等学校3年)



日頃から高校生平和大使へのご支援を心より感謝申し上げます。

今回8月5日から5日間、長崎研修に参加してまいりました。長崎の夏は朝から35℃近くまで上昇し、原爆が投下された日もこのように暑い中で人々が熱線を浴びたと思うと、胸が痛くなりました。9日は、長崎平和祈念式典に参加しました。9日を被爆地長崎で過ごせたことに感謝し、亡くなった被爆者に向けて原爆投下時間11時2分に黙とうを捧げることができたことは、私にとって生涯忘れる事はないであろう経験となりました。

研修最終日の10日は、高校生平和大使25周年記念式典に参加しました。後半のトークセッションでは、第25代の現役高校生代表として私が登壇する機会を頂きました。北海道の学生が平和学習をする機会が少ない現実や、それでも高校生にできることなどについてお話させていただきました。トークセッションへの参加を終えた今、自分がやらなくてはならないことを明確にできることができ、後世に継承していく義務があると改めて再確認することができた良い機会だったと思っています。

最後に、この活動に携わってくださった全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。長崎研修で得た学びを、被爆地から遠く離れた北海道から発信していくけるよう今後も努めてまいります。

北海道高校生平和大使派遣10周年記念事業 被爆ピアノコンサート ～あなたにとって平和とは～

入場
無料



10月20日[木] 函館市芸術ホール

開場18:00
開演18:30 終演21:00

10月21日[金] 苫小牧市文化交流センター
(アイビー・プラザ)多目的ホール

開場18:30
開演19:00 終演21:00

10月22日[土] 旭川市 神楽公民館
「木楽輪」音楽ホール

開場18:00
開演18:30 終演21:00

10月23日[日] 札幌市 ホテルロイトン札幌
3階 ロイトンホール

開場18:00
開演18:30 終演21:00

お問い合わせ

連合北海道 TEL:011-210-0050
e-mail:info@hokkaido-heiwataishi.jp

スマホでも
お申し込みできます



10月の主な動き

- 1日(土)10:00／TKP
女性委員会定期総会
- 5日(水)9:30／幌延町
幌延深地層研究監視連絡会

- 5日(水)14:00／連合会館
第3回地方連合会代表者会議
- 6日(木)10:00／アートホテル日暮里
第88回中央委員会
- 13日(木)10:00／ホテル札幌ガーデンパレス
第12回執行委員会

イベントカレンダー

- 15日(土)13:00／自治労会館
青年委員会第30回定期総会
- 20日(木)13:30／連合会館
第13回中央執行委員会
- 27日(木)13:30／ロイトン札幌
第35回年次大会

奨学金の返済で 悩んでいませんか？

奨学金に関する電話相談



保証人に
迷惑はかけられ
ないし…

返済で生活が
カツカツ

督促の
連絡が来たけど
どうしよう

まだあと
10年も返済が
あるのね…

ほとんど貯蓄も
できないし…

子どもの返済を
肩代わりしているが
これ以上は厳しい



おひとりで悩まず、
お気軽にご相談ください。

※個人情報保護法を遵守し、法令に基づいて個人情報を取り扱います。

全道一斉電話相談日

2022年

11/11(金)～12(土)
10:00～19:00

0120-783-000

北海道労働者福祉協議会

受電先：北海道ライフサポートセンター

<http://www.hokkaido-roufukukyo.net/>



主 催：北海道労働者福祉協議会/北海道ライフサポートセンター暮らしなんでも相談室/北海道労働金庫
協 力：北海道学費と奨学金を考える会(インクル)/北海道奨学金ネットワーク/全国大学生協連北海道ブロック